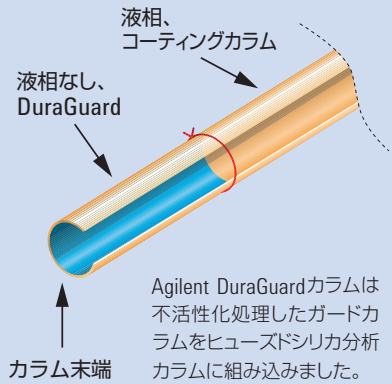
Agilent DuraGuard キャピラリGCカラム

ユニオン起因の問題から解放される、シンプルなGCカラムソリューション

アジレントのDuraGuardカラムは、カラムを保護するために
不活性処理したヒューズドシリカチューブがガードカラムとして
1本のカラムに組み込まれています。

カラム汚染を防ぐため、ガードカラムとして不活性化処理カラムを分析GCカラムに接続して使用することがあります。一般的にガードカラムはユニオン等によって接続されますが、取り付けが難しく、場合によってはリークの原因となり、カラムの劣化、デッドボリュームやピーク形状の悪化等の問題が生じます。特に、質量選択性検出器(MS)へのトランスファーラインに不活性化ヒューズドシリカを使用する場合、リークは問題となり、真空システムがリークのないシステムを維持することが難しくなります。



Agilent DuraGuardカラムは不活性化処理したガードカラムをヒューズドシリカ分析カラムに組み込みました。わずらわしいユニオン等の取り付け作業が不要です。

連続した1本のチューブ。ユニオン不要

Agilent DuraGuardカラムは、連続した1本のチューブ。不活性処理をしたガードカラムと分析カラムが一体化しているので、接続ユニオンは使用しません。カラム先端を切断して接続ユニオンを取り付けるといった、煩雑で注意を要する作業から解放されます。さらに、ユニオンに起因するトラブルや、分離ピーク形状の問題などを解決できます。農薬や薬物などの難しい分析成分を含むサンプルは、ガラス製ユニオンによるクロマトグラフへの影響を一切受けることなく分析可能です。さらに、DuraGuardカラムの3～5メートルの部分でリテンションギャップの効果を受けることができます。
このDuraGuardカラムはスプリットレス注入、メガボアダイレクト注入およびオンカラム注入における大量注入(>2μL)や溶媒と液相極性が合わない場合に特に有効です。

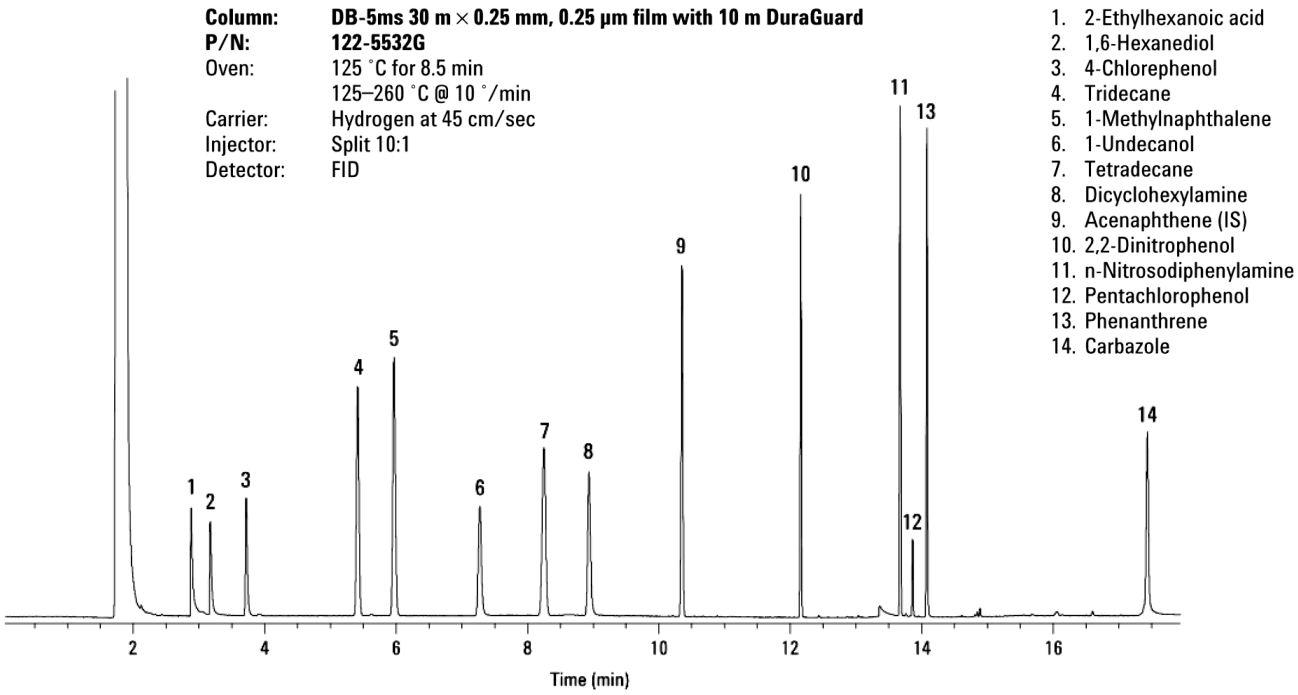
DuraGurardカラムの特長

- ユニオン取り付けの手間が省けます。
- リーク等のユニオン起因のトラブルから解放されます。
- 分析カラム先端の汚染が減少し、カラム寿命が延びます。
- カラムの先端がサンプルを濃縮する手助け(リテンションギャップの役割)をし、優れたピーク形状が得られます。
- トランスファラインのインタフェースで発生するカラムブリードによるMSDイオン源の汚染を最小にします。

Agilent Technologies

DuraGuardカラムを使用した分析例

分離が非常に困難なサンプルも、ピーク形状を損なうことなく分離しました。



価格

オーダーガイド

部品番号	DuraGuardカラム（固定相）	内径（mm）	分析カラム長さ（m）	膜厚（µm）	ガードカラム長さ（m）	価格（円）	〈参　考〉ガードカラムなし通常カラム 部品番号	価格（円）
122-1032G	DB-1	0.25	30	0.25	10	71,000	122-1032	67,000
122-5532G	DB-5ms	0.25	30	0.25	10	80,000	122-5532	70,000
122-5536G	DB-5ms	0.25	30	0.50	10	80,000	122-5536	72,000
122-5533G	DB-5ms	0.25	30	1.00	10	80,000	122-5533	72,000
122-5562G	DB-5ms	0.25	60	0.25	10	126,000	122-5562	118,000
123-5533G	DB-5ms	0.32	30	1.00	10	80,000	123-5533	72,000
125-5537G	DB-5ms	0.53	30	0.50	10	102,000	125-5537	82,000
122-5631G5	DB-5.625ms	0.25	30	0.25	5	71,000	122-5631	64,000
122-1232G	DB-XLB	0.25	30	0.25	10	80,000	122-1232	70,000
125-0732G	DB-1701	0.53	30	1.00	10	94,000	125-0732	74,000
125-1334G5	DB-624	0.53	30	3.00	5	93,000	125-1334	88,000

※この表以外のDuraGuardカラムは、カスタムカラムとしてお問合せください。
作成可能な液相はDBポリシロキサンおよび低ブリード液相になります、また内径0.18mm以上のヒューズドシリカで作成可能です。
※価格は予告なく変更になる可能性があります。ご注文時には最新価格をご確認ください。

アジレント・テクノロジー株式会社
本社/〒192-8510 東京都八王子市高倉町9-1
●カストマコンタクトセンター 0120-477-111

※仕様は予告なく変更する場合があります。

www.agilent.com/chem/jp

copyright © 2007 Agilent Technologies
All Rights Reserved.
本書の一部または全部を書面による事前の許可なしに複製、改変、翻訳することは、著作権法で認められている場合を除き、法律で禁止されています。

Printed in Japan. Feb. 1, 2007
5989-4596JAJP

Agilent Technologies